

7月号

いっしん

平成30年(2018年)

第402号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
メールアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

神の子が
神にならずば
如何にせむ
瓜には瓜の
なる世なりけり
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

甘木親教会 布教115年 記念大祭 平成31年 10月
加治木教会 矢野政美大人20年祭・矢野サダ子大刀自5年祭 平成31年2月10日



布教当初加治木教会にて

安武文雄親先生・藤江奥様・矢野政美大人・サダ子刀自



晩年の矢野クラ刀自・仁吉郎翁
(矢野政美大人の両親)



布教記念祭
仕えられる
六月十七日

朝日町に移った頃の教会 S36年頃
(自転車は上田又きさん行商用)

六月十七日(日)加治木教会では六十七年
目の布教記念祭を仕えさせていただきま
した。
昭和二十六年六月十七日に甘木親教会
を出発して栗野教会に一泊し、十八日に加
治木の町に着き、前教会長 矢野政美大人
夫妻が、向江町の平島只助先生(戦前に布
教しておられ昭和十九年没の時代からの
教徒松田モトさんの借家で布教が始まり
ました。加治木の地での再布教は、容易に
参拝者が増えず、とうとう三年目には食
べることさえできなくなりました。
転地布教を思い立ち、親教会に参拝し親
先生にお伺いすると、「一旦、甘木親教会に
戻ってから」と、里の母堂矢野クラ刀自
は「加治木で鳴らぬ太鼓はどこに行っても
鳴らぬ、…辛抱しなさい」と死んでも良い
ではないかとさえうながされました。
とうとうそういうことが言えたのでし
ょうか。それは「親神様の御立場に立った
信心」を身に付けていたからで、「自己中心
のおかけを信ずる信心」ではなかったため
でもありましょう。何度となく自分自身も
家族も命を助けられ、どんな難儀に出遭っ
ても、それを深い神様のお計らいのある修
行として信心を進め、潰れかけた家を再興
することができ、神様はけっして悪いよう
にはなさらないという信念があり、それが
微動だにしないというものがあつたので
ありましょう。

甘木親教会 「青年の集い」

四月十四日(土)
十五日(日)

に参加させていただいて

上田和也

「青年の集い」第一日目、開会式の後、親先生のみ教えを聴かせていただきました。

青年の集い 教会関係者



安武道義親先生 ご教話

親先生のみ教えでは、ハワイのハワイ教会から体験修行に来ていた信者さんのお子さんである若者が「次は友達を連れてきます」とのことだったそうで、外国で育った若者でも信心の有難さや尊さがわかってくれたようですとお話しされたことが印象に残りました。



前回からの知り合いも何人かいましたので、夕食の時だけではなく、深夜まで有意義なお話をさせていただきました。おかげ様で、朝起きるのが少しきつかったです。

翌朝の朝参りはどうかお広前に参拝できましたが『安武松太郎師教話集』の文章を読ませていただき別になつての懇談があり、班のそれぞれが順に意見を出すことになっていきましたが、自分の番になると、どうにか意見を言うことはできましたが、自身の勉強不足を思い知らされた気がしました。

第二日目には、参加者一同で、甘木教会から東の方に、八キロメートルほどにある杷木町の九州北部豪雨の被災現場に移動しました。

杷木教会長の手島範道先生が、被災地を一緒に回って下さり、そのようすを詳しく説明して下さいました。実際に被災地に赴いて、改めて自然災害の恐ろしさを思い知らされた気がしました。

被災地の現状や、復興に向けて現地で取り組まれてあるご苦労などのお話は、大変ためになり有意義でありました。

今回の「青年の集い」で、朝参りの大事さを知ることができ、またへさるなる信心の向上に励んで行かなければならない！という意気込みが強くなった気がします。

杷木町の豪雨被災地を視察
杷木教会長と手島先生



14日夜の懇親会

南九州教区 六月二日(土)・三日(日) 信徒部教区委員会

に参加させていただいて
上田和也

六月二日(土)・三日(日)、大分教会
において、教務センター所長と大分
県南部連合会長の先生方二
名と、南九州教区の、五つ
の各連合会から信徒部の役
員十三名が出席し、南九州
信徒部教区委員会が開かれ
ました。

最初に、宮崎教会の信徒
の野田和彦さんの開会の挨拶
で始まり、教務センター
所長の森義信先生のお話が
ありました。

森先生のお話して印象に
残ったことは「八十九才で
亡くなった祖母について、

子どもの頃はお年玉をもらえるお祖
母ちゃんくらいの感覚でありました
が、大人になりお道の教師となつて
から、書き残したものを読ませてい
ただき、大変な信心の内容があった
ことを理解することができました。



大分教会

昔は貴重で栄養価の高かった牛乳を
有難く頂いたが、天地のお恵みであ
る食物はすべて神様にお礼を申して、
有難く頂くことが大事であるとい
う内容が特に思い深い」ということ
でした。

*

委員会では、最初に南九
州教区内の五つの各連合会
の、活動の計画と報告など
がなされました。

続いて、全国信徒会の取
り組みなどが議題となり
「あいよかけよ」誌(全国信
徒会の機関紙)の購読数の
減少に対し、購読を推進し
て行くことを確認し合いま
した。日田教会の信徒会長
をされてある合原さんはそ
のことを特に熱く語ってお
られました。

「あいよかけよ」誌には、信心の
稽古の仕方が載せてあるので、私も、
皆さんに購読をお勧めします。

次に、今年七月十四日に、北海道
で開かれる、全国信徒会の大会につ
いて説明がありました。鹿児島県が



らは遠いので出席はないように思っ
ていましたが、鹿児島地方教会連合
会の「女性ネットワーク」代表の満
留真喜子さん(串木野教会)が出席さ
れるとのこと。今後の活躍が祈
られ期待されます。

また、七月に予定されています「信
行取組表」についての議題では、教
区内の各連合会でも取り組まれるの
で、一人でも多くの信徒により取り
組まれることが期待されるというこ
とでした。

前加治木教会長

矢野政美大人 遺稿

矢野政美大人二十年祭を来年(平成三十一年)二月にお仕えするにあたり、矢野政美大人の遺稿を掲載し、改めて読み直し、信心姿勢を頂き直し、お慰びさせていただこうとするものであります。

布教記念の月を迎えて

昭和二十六年六月十七日甘木親教会を拜せて頂き途中栗野会に一泊させて頂いて、十八日、加治木のお土地を踏ませて頂きましてより、この月で満三十二年になりました。

この三十二年間をふり省らせて頂きますとき、限りなき神みかけを蒙



矢野政美大人

ってまいっております事がしのばれてなりません。

そもそも天地金乃神様の御神願は、「天地の間に氏子おっておかけを知らず前々のめぐりあわせて難を受けおる」氏子をご覧になって見るにしのびず、金光大神様に「世間になんほうも難儀な氏子あり取次助けてやってくれ」と御頼みなされ、教祖の神様が「死んだと思うて欲を放れて」御取次の道をお創めになられたことに始まり今年で百二十四年にならるのであります。

この尊い生神金光大神様のみ手代の御用に、至りませぬ私をお引まし頂き、もったいない思いがさせていただきます。

深く厚き親神様のみ慈しみと、生神金光大神様の御取次を蒙らせて頂きながらも、み手代りの御用になつていない自分の姿を振り返らせて頂きますとき、真に申し訳ない思いが致します。

至りません者をここまで御用にお使い頂きましたことをお礼とおわび申し上げ、今後の上に一層のお引ましをお願い申し上げます。

替えがたき尊き生命たまわるに

如何で礼ひの足らぬ我かな

近づく親教会

遺稿

布教八十年祭に向いて

明治三十七年五月八日、恩師安武松太郎大人が福岡県朝倉郡甘木町二日町の小さな借家から、この尊いお道のご布教が始まりました。

生神金光大神様の御取次のまにまに天地の親神様の御徳の中に生かされてある私共であることを、御結界にお座りになりましたら、ひたすら天地の大神を人間の親子の情愛に例えて、噛んで含めるようにご理解になりました。

この親先生の御取次お祈りを頂きまして、どれだけの人々が救い助けられてまいったことでしょうか。

そうして昭和二十六年二月四日、八十二歳を以ってご帰幽になられました。

そのみ跡を現親先生がお継ぎになられまして、三十三年間、御先代親

第23回 女性のつどい開催
9月9日(日) 9時～11時 会場 加音ホール 大分県 日田教会在籍 加音ホールにて

9/9(日) 10:00~
大分県 日田教会在籍
田辺 徳子 氏

プロフィール
昭和36年 4月27日 誕生
44年 2月 日本文学専攻大卒
49年 2月 結婚
平成 8年 10月 女子大に返学
22年 結婚済
24年 専修学校入校 文芸系
25年 卒業 全国婦人大会役員
26年 専修学校卒業
28年 専修学校講師

♥チャリティーバザー 提供品の募集

※提供品は、現金で取りまとめ、価格を付けて当日会場にて持ち参り下さい。
※収受金は、女性委員会の運営及び、連合会(社会活動委員会)を通じて、災害支援等に、させていただきます。

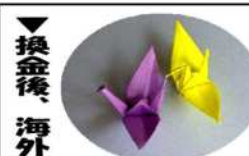
※お申し込み(400円)の必要はなし。教会にお申し込みください。教会でとりまとめ、毎月末日までにお願いします。 金光教霊見島地方教会連合会

先生のご信心を求め続けられまして、今年で甘木御布教以来八十年という又とない御年柄を迎えさせて頂きました。

恐れ多いことではございますが、教祖生神金光大神様が、天地金乃親神様からお頼みをお受けになられ「死んだと思つて欲をはなれ」になり「神も助かり人も立行く」御取次の道をお立てになられましたように、甘木親教会では「神代の実現」(親神の願いを我が願いとして神と人と共に助かりゆく社会の実現)に取組んであります。

私共もこの師の願いを受けて、ここに八十年記念大祭に向つて信心を進めさせて頂くおかげを蒙らせて頂きたいと存じます。(矢野政美大人遺稿)

少年少女全国大会に向け(7月末まで)
まごころ運動



に取り組みましょう。
平和の折りづる
※古切手・古カード
えんぴつ(新)
を集めます。

▼換金後、海外の滞りない子どもたちへ送られます。

あしあと 加治木教会行事記録

- 6月
- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半 (会場: 教区委員会)
 - 2 (土) 3 (日) (於: 大分教会)
 - 5 (火) 6 (木) 教区 教師研修会 (清掃御用) 10時
 - 9 (土) 御本部教団独立記念祭 (選擇) 10時
 - 10 (日) ●月例祭 生神堂 10時半 大神様
 - 13 (水) 龍笛練習 20時
 - 14 (木) 連合会 教師研修会 (於: 加音ホール 龍見堂)
 - 17 (日) 加治木教会布教六十七年記念祭
 - 18 (月) 龍笛練習 20時
 - 21 (木) 清掃御用 10時
 - 22 (金) ●月例祭 共励会 13時半
 - 23 (土) 24 (日) 青年ふれあいフォーラム (於: 大分県 日田教会)
 - 26 (火) 甘木親教会 教師婦人部会
 - 29 (金) 清掃御用 10時
 - 31 (土) 上半期感謝祭 10時半

使用済み切手収集についてのお願い

●お願い●
*切手ははがさず、以下の要領で切り取ってください。
*切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。
*枚数を明記してお届けください。
*外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。



七月のご霊神様のおまじない

- 川畑祐義 之霊神(7日)平成17年
 - 中野 繁 之霊神(9日)昭和54年
 - 大山ちあぎ之霊神(12日)平成13年
 - 村上淑子 之霊神(13日)昭和52年
 - 福山悦子 之霊神(13日)平成2年
 - 津上甚次郎之霊神(18日)昭和31年
 - 徳永フエエ 之霊神(18日)平成29年
 - 金竹重利 之霊神(19日)昭和60年
 - 山本豊子 之霊神(19日)昭和3年
 - 上田スギ 之霊神(19日)平成21年
 - 福元三次郎 之霊神(20日)昭和33年
 - 須藤禮子 之霊神(22日)平成18年
 - 庄村袈裟助 之霊神(23日)昭和20年
 - 平地政男 之霊神(25日)昭和21年
 - 前田ツネ 之霊神(27日)昭和60年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

